

皆様、いかがお過ごしでしょうか？

日差しが温かくなり外に出るのが気持ちよくなるこの季節、この陽気を利用してウッドデッキなど屋外木部のお手入れはいかがでしょう？天然木は特に傷みやすいもの。たまの塗り替えできれいに長持ちさせましょう。

木部塗り替えのキホン

木材がグレーになったら塗り替えを

グレーに変色したら塗り替えのサイン。



ペンキはNG、木材防腐剤を含む塗料で

ペンキは塗膜で木材の寿命を縮めます。防虫・防カビ効果のある木材防腐剤を含んだ塗料を使いましょう。



塗料の選びかた

仕上がりで選ぶ

浸透タイプ

膜を作らず浸透し木の質感を残したまま耐久性アップ。

半造膜タイプ

膜を作りキズや荒れもカバー。下地の色を変えたいときにも。



下地と同じものを選ぶ

水性塗料には水性塗料、油性塗料には油性塗料を塗り重ねるのがベターですが前回の塗装から時間が経っている場合には水性・油性の組み合わせも可能です。



いざ、塗り替え

〈用意するもの〉塗料、カップ、刷毛、マスキングテープ、マスキナー

①汚れ落とし

ゴミ・ホコリを払い、こびりついた汚れはデッキブラシなどで落とす。高圧洗浄剤など水を使う場合は、あらかじめ前々日を目安に。



②研磨

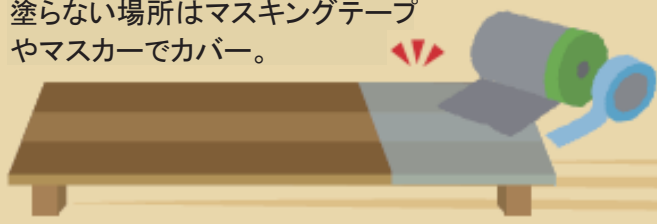
サンダーで表面を研磨します。造膜タイプの塗料は念入りに。表面を粗くすることで、木材と塗料が密着し長持ち。



塗り替えの
手順

③養生

塗らない場所はマスキングテープやマスキナーでカバー。



④塗装

ポイント1 塗料缶を良く振って中身を均一に。

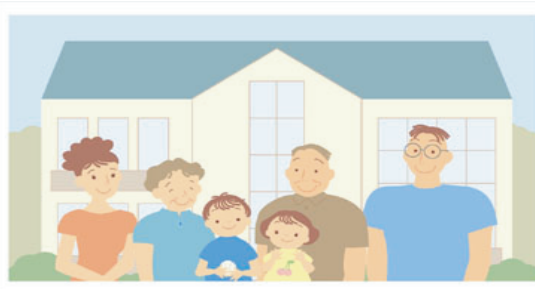
ポイント2 木材間など塗りにくい部分から塗り始め広い部分を仕上げ。

ポイント3 木目に沿い、刷毛つぎせず1回で木材1本を仕上げるつもりで。



プチ雑学 [外国人観光客の日本みやげがおもしろい!]

日本を訪れる外国人観光客は、増加傾向にあります。観光はもちろん、買い物を楽しむ人も多いといえます。日本の電化製品や服飾品など、人気が高いものがありますが、おみやげとして購入するものがとてもユニークなので、ご紹介いたします。珍しいものとして定番化しつつあるのが、食品サンプル。蟬などを使い、本物そっくりで作られているところが魅力的で、最近では、食品サンプルをミニチュア化したストラップや、マグネットが人気だそうです。また、爪きりも人気。性能の良さはもちろん、ストラップになっているものも諸外国ではあまり見られないので買っていく人が多いのだそうです。さらに、5本指靴下や、肌触りの良いローション入りティッシュといった機能的に優れたアイテムも。民芸品だけでなく、普段から私たちが何気なく目にしていたり使っている日用品も、外国人にとっては驚きもの。あらためて、日本のものづくりは凄いと感ぜますね。



TOYAスマイル倶楽部事務局
今治市玉川町中村甲677-7
有限会社十弥工務店内
TEL (0898)36-8182
FAX (0898)36-8183
E-mail : toya-info@toya.co.jp